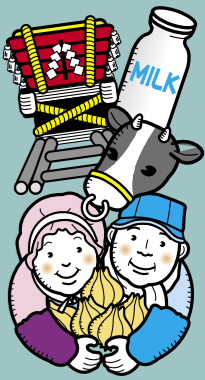


地域の催しや明るい話題などが  
「まい」に載りましたら、気軽に広報係  
までご連絡ください。  
☎43・5003(情報課)



## シーズン到来、沼島の鱧



▲供養をする寺川さん

沼島において5月23日、「鱧供養祭」が行われました。これは、鱧の供養を行うとともに豊漁と商いの繁盛を祈念するために毎年開催されているもので、今年で21回目を迎えます。

まず、沼島の西光寺において鱧の供養が行われました。西光寺には体長1mを超える10匹の鱧が入った水槽が設置され、寺川光信住職がお経を上げる中、出席者たちがそれぞれ焼香をしました。供養が終わった後、沼島の南東に

### 鱧供養祭

位置する上立神岩付近の海上まで船で移動し、出席者たちによつて一斉に鱧が放たれました。

鱧は梅雨の水を飲んでうまくなると言われ、毎年6月〜8月にかけて旬を迎えます。シーズンの間は多くの観光客が鱧を目当てに沼島を訪れます。市の特産品である玉ねぎと一緒に煮る鱧すきや、湯引き、刺身などにして食べられます。



▲鱧を放流する出席者たち

供養祭を主催した「灘・沼島観光ふるさと会」の木村一会長は、「沼島の海底の泥地は鱧の生育に適している。そこで育った鱧は皮が薄くやわらかで、さらに肉厚となり大変おいしい。多くの人に食べていただきたい」と話しました。



▲旬の鱧を使った鱧すき

## 倭文中学校で食育研修会が行われました

PTA食育研修会

倭文中学校で6月5日、PTA食育研修会が行われました。3年生の生徒と保護者が参加して食育についての講話を聞いた後、親子で料理を作りました。



▲楽しんで調理を行う生徒と保護者

この日、講師として招かれたのはフレンチレストランのシェフを務める成瀬孝一さん(洲本市)。料理人として様々な国の料理を食べてきた経験を活かしながら、栄養バランスのとれた食事や、よく噛んで食べることの大切さを伝えました。成瀬さんは「淡路では、やろうと思えば自然の食品を簡単に食べられると

いうことを知ってほしい」と話しました。

講話の後には、淡路島ぬいどるを使用したトマトソースの Pasta とフルーツヨーグルトを4つの班に分かれて作りました。



▲「食」について話す成瀬さん



▲色鮮やかなパスタとフルーツヨーグルト

## 「幡多の青空市」への感謝にタマネギ収穫応援

神戸サンズ野球チームがお手伝い



▲神戸サンズの監督、選手たちが収穫応援

複数上幡多で毎週日曜日に開かれている「幡多の青空市」では、約1年前から淡路島を本拠地とするプロ野

球・関西独立リーグのチーム「神戸サンズ」の選手たちと地元野菜を無料提供しています。「日頃の恩返しに何かお手伝いしたい」との同チームからの申し出に6月5日と11日、青空市の会員の秦英喜さんの圃場で、最盛期のタマネギ収穫を手伝っ

てもらうことにしました。

監督と選手16人が、練習の後にバスで駆けつけ、午後2時から日が暮れるまで、掘り起こしたタマネギの根と茎を1個ずつハサミで切る作業や、タマネギを農車で運んで小屋に吊る作業などを手伝いました。

秦さんは「人手が必要な農繁期に、力強い大勢の応援で本当に助かりました。これからも南あわじの美味しい野菜を食べてもらって優勝してほしい。選手への応援にもますます力が入ります」と話していました。



▲5つのさだめを唱和する子どもたち

## スカウトに誓いを立てて入隊しました

ボーイスカウト入隊式

奉仕活動や登山、キャンプ体験などを通じて青少年の健全な育成を行うボーイスカウト活動は、市内では南淡地域を拠点とする三原第一団と

西淡地域を拠点とする三原第四団があります。ボーイスカウトのカブ隊には「すなおであります」「自分のことは自分でします」「互いに助け合います」「幼いものをいたわります」「進んで良いことをします」という5つのさだめがあります。三原第四団では5月26日に西淡公民館で入隊式が行われ、29名の新入隊員と4名の上進者が、カブ隊の5つのさだめを唱和し、今年1年間スカウト活動続けることを誓いました。

## べっぴん鱧をPR

べっぴん鱧まつり

沼島周辺で獲れる鱧は胴の太さに比べて頭が小さくて小顔に見えること、はえ縄漁で獲るため体に傷が少ないことから「べっぴん鱧」と呼ばれます。そんな「べっぴん鱧」をPRするために、福良漁協荷捌所で5月27日、「べっぴん鱧まつり」が開催されました。このイベントは福良漁業協同組合が主催しているもので今年で5回目になります。

たコースを滑って速さを競う鱧レースや、鱧すきセットのオークション、鱧の骨切りショーが行われ、訪れた人たちを楽しませました。また、鱧すきの振る舞いも行われました。開始前から長い行列ができる盛況ぶりであり、用意された300人分の鱧すきは、30分足らずのうちになくなりました。観光で訪れたという平島雅史さん(大阪府)は、「鱧のダシがしつ



▲鱧すきを味わう参加者

かり出ていて、すごくおいしい」と話しました。

## 永年の功績をたたえて

日本バスケットボール協会功労者表彰

桜井節哉さん(市)が1月7日に日本バスケットボール協会功労者表彰を受賞しました。これは、日本のバスケットボール界の普及発展に多大な功績を残した人に与えられるものです。

桜井さんは、三原高校の教員時代にバスケットの指導者となり、その後津名高校、洲本高校に勤務。約40年間指導者、審判員として活躍されました。



▲5月26日には受賞記念祝賀会が催されました